

## 「施設整備ビジョンのコンセプト」についての意見

7月11日（日）の第1回愛知県立芸術大学施設整備ビジョン検討会において各委員から出された意見は以下のとおり。

- ・緊急整備対策指針は、短期的な前面整備を行うプランに対して否定的であると感じるため、改築主体のマスタープランが認められなかったことは、コンセプトも県が認めていないということではないか。
- ・大学としてのビジョンや教育研究のあり方等、変わらないもの（ソフト）と、施設整備のように状況に応じて変わるもの（ハード）があるので、二段階に分けて考える必要がある。
- ④ コンセプトを見直すためには施設改修の状況やそのデータが必要。吉村先生の「設計理念の継承」という言葉だけで、建物の維持管理をしていないのであれば、大学のコンセプトを話し合っても意味が無い。
- ・建物の維持管理というハード面の議論だけでなく、学生や教職員など建物を使う側のソフト面のことも反映させた方がよい。